

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 年間学習計画と単元(題材)

週2時間 <地理的分野「世界と日本の地域構成、世界の様々な地域」>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
1 学期	4	〈地理的分野〉 ・世界と日本の地域構成	・世界の姿 ・日本の姿	・地球儀や世界地図を活用し経度と緯度、大陸や海洋の分布、おもな国々の名称と位置、地域区分を大観することができる。
	5			
2 学期	6	・世界の様々な地域	・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州	・世界各地における人々の生活の様子を自然および社会条件と関連づけて考え、世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。 ・世界の諸地域について、各州の人々の生活を通してそれぞれの州の地域的特色を理解できる。
	7			
	8			
	9			
	10			
3 学期	11			
	12			
	1			
	2			
	3			

週1時間 <歴史的分野「歴史の捉え方、原始・古代の日本と世界、中世の日本と世界」>

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
1 学期	4	〈歴史的分野〉 ・歴史の移り変わりを考えよう ・原始、古代の日本と世界	・時代区分、年表の見方 ・人類の出現と文明のおこり ・日本の成り立ちと倭の王権 ・大帝国の出現と律令国家の形成 ・貴族社会の発展	・歴史上の人物や出来事がどの時代区分にあたるのかを考え、時代区分を理解できる。 ・人類の誕生と文明の発祥の過程を理解すると共に、我が国の国家の形成律令国家の確立と天皇や貴族政治の展開、国際的な要素をもった文化と文化の国風化など、歴史的事象に関心をもち時代の特色を理解できる。
	5			
	6			
2 学期	7	・中世の日本と世界	・世界の動きと武家政治の始まり ・揺れ動く武家政治と社会	・鎌倉幕府の成立と変遷、南北朝の動乱と統一、東アジアの国際関係について理解できる。また、武家社会と貴族社会の違いをふまえて中世がどのような時代だったのかを理解できる。
	8			
	9			
	10			
3 学期	11			
	12			
	1			
	2			
	3			

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
社会的事象についての知識・理解 および資料活用 の技能	<ul style="list-style-type: none"> 資料を適切に活用して、ワークシートに取り組んでいる。 テストにおいて資料から適切な解答ができていく。 社会的事象についての理解を深め、知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 小テスト 定期テストにおける資料読み取り問題
社会的な思考・ 判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> テーマに沿ったレポートを作成できている。 テストにおいて、記述問題に解答できている。 	<ul style="list-style-type: none"> レポート、小テスト 定期テストにおける記述問題
主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 授業準備をし、私語をせず、真剣に授業に臨んでいる。 提出物を提出できている。 社会の動きを新聞やニュースなどから読み取り理解し関心をもっている。 作成したレポートを簡潔に分かりやすく発表できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 提出物 (ノート、ワークなど) 定期テスト レポート発表

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・ノートの取り方について黒板に書かれたことは、その時間の記録です。必ず書き写しましょう。字は丁寧にはっきりと書きましょう。
- ・わからないことをそのままにしないで、休み時間や放課後を利用し積極的に質問しましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・宿題について・・・宿題はやらねばならない課題です。教科書を読んで取り組んでかまいません。丁寧に調べて取り組みましょう。また、普段から漢字を使う努力をしましょう。
- ・復習について・・・授業で学習した部分は、教科書やノートを読み直してその日に復習をしましょう。また、ノートの余白に自分の感想や疑問を書きましょう。疑問に思ったことは、調べたり先生に質問したりしましょう。

6 定期テスト前の取り組みについてのアドバイス

- ・ノートには授業の要点がまとめられています。ノートを中心に勉強しましょう。
- ・資料から情報を読み取る問題も出題します。資料集の統計資料や写真などをよく確認しておきましょう。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

- ・毎時間の授業では黒板に書いたことを丁寧にノートに書き写すようにしましょう。
- ・授業の復習を丁寧にやりましょう。(復習のやり方は5で説明した通りです)